

「コスト削減とIT投資の最適化を 成功に導く JP1 Version 9」

2009/6/30

株式会社 日立製作所 情報・通信グループ
ソフトウェア事業部 第1JP1設計部

部長 清水 英則

JP1

Contents

1. 運用管理市場をリードし続けるJP1
2. クラウド時代を見据えた運用管理の方向性
3. コスト削減とIT投資の最適化を成功に導く JP1 V9
4. JP1の今後の取り組み

JP1

1

運用管理市場をリードし続けるJP1

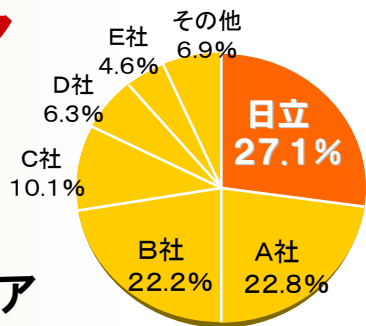
1-1. JP1の市場評価

**11年連続
国内トップシェア
を継続中！**

(富士キメラ総研などの調査による)

**2007年度もトップシェア
JP1はシェア27.1%**

運用管理ソフトウェア
国内シェア(2007年度)



[出典:富士キメラ総研、
2008年10月]

MM総研大賞2008

運用管理ソフトウェア部門

最優秀賞



運用管理ソフトウェア部門
最優秀賞受賞

**日経コンピュータ 2008年
第13回 顧客満足度調査
統合運用管理ツール部門**

2年連続 1位



日経ソリューションビジネス 2009年

第11回 パートナー満足度調査
ネットワーク/システム運用管理ソフト部門

2年連続 1位



1-2. 新たな時代を切り拓く JP1 Version 9 デビュー

1997

2003

2009

市場デビューから15年
運用管理ソフト市場をリードし続けるJP1が
メジャーバージョンアップ

JP1^{Version}
9

2009/6/3 販売開始
2009/7/31 出荷開始

Ver. 7~8

コンプライアンス/環境問題など
ビジネスレベルの課題に対応

Ver. 5~6 以前

ジョブ管理製品を中心に
ITレベルでの自動運用による
TCO削減に寄与

来るべきクラウドコンピューティング時代を見据え、
大規模化、複雑化するシステムを柔軟かつスマートに運用し、
企業全体でのシステムの全体最適化を実現

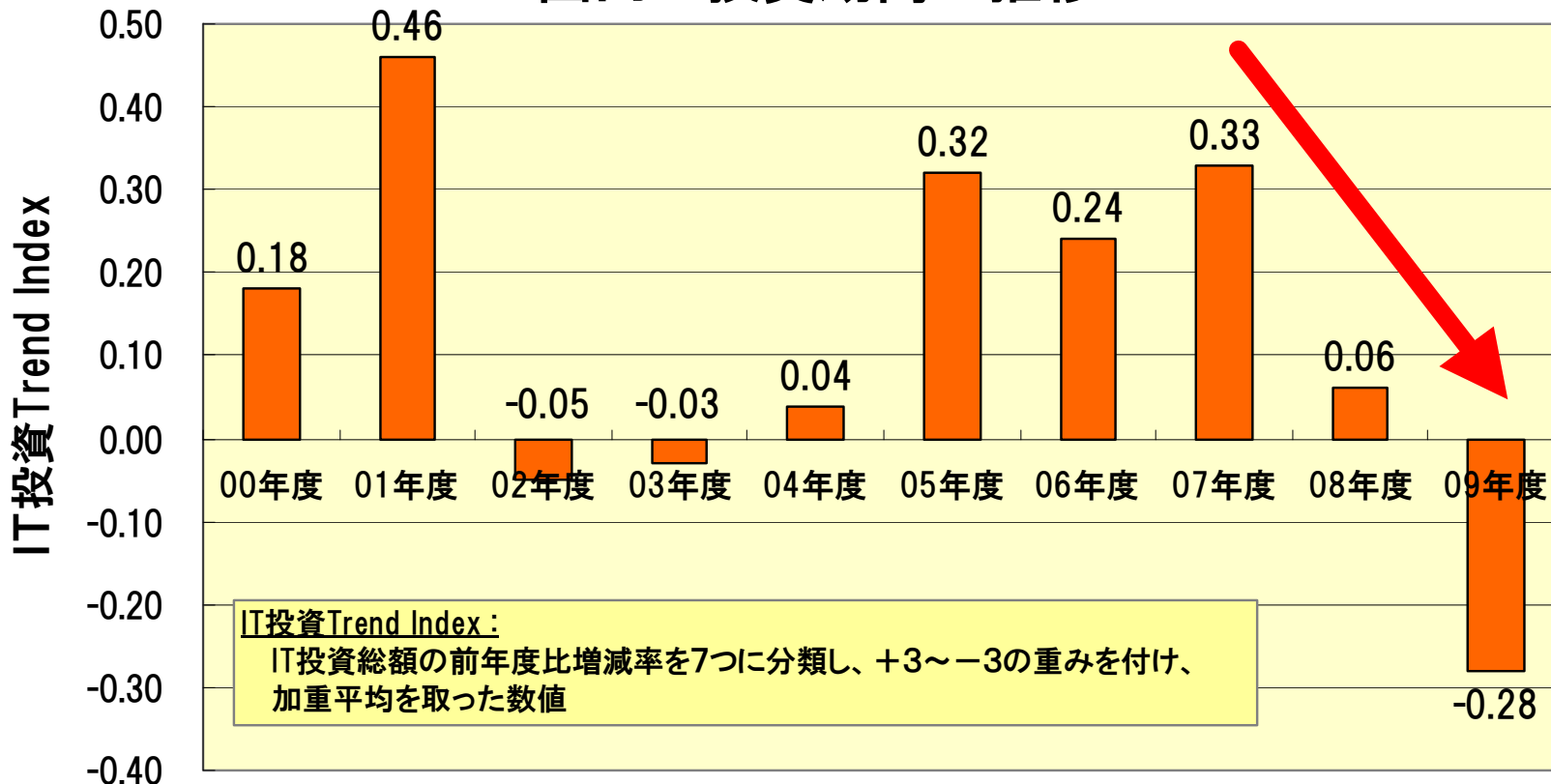
JP1

2

クラウド時代を見据えた 運用管理の方向性

● 厳しい経済状況の中、企業はIT投資を大幅に抑制

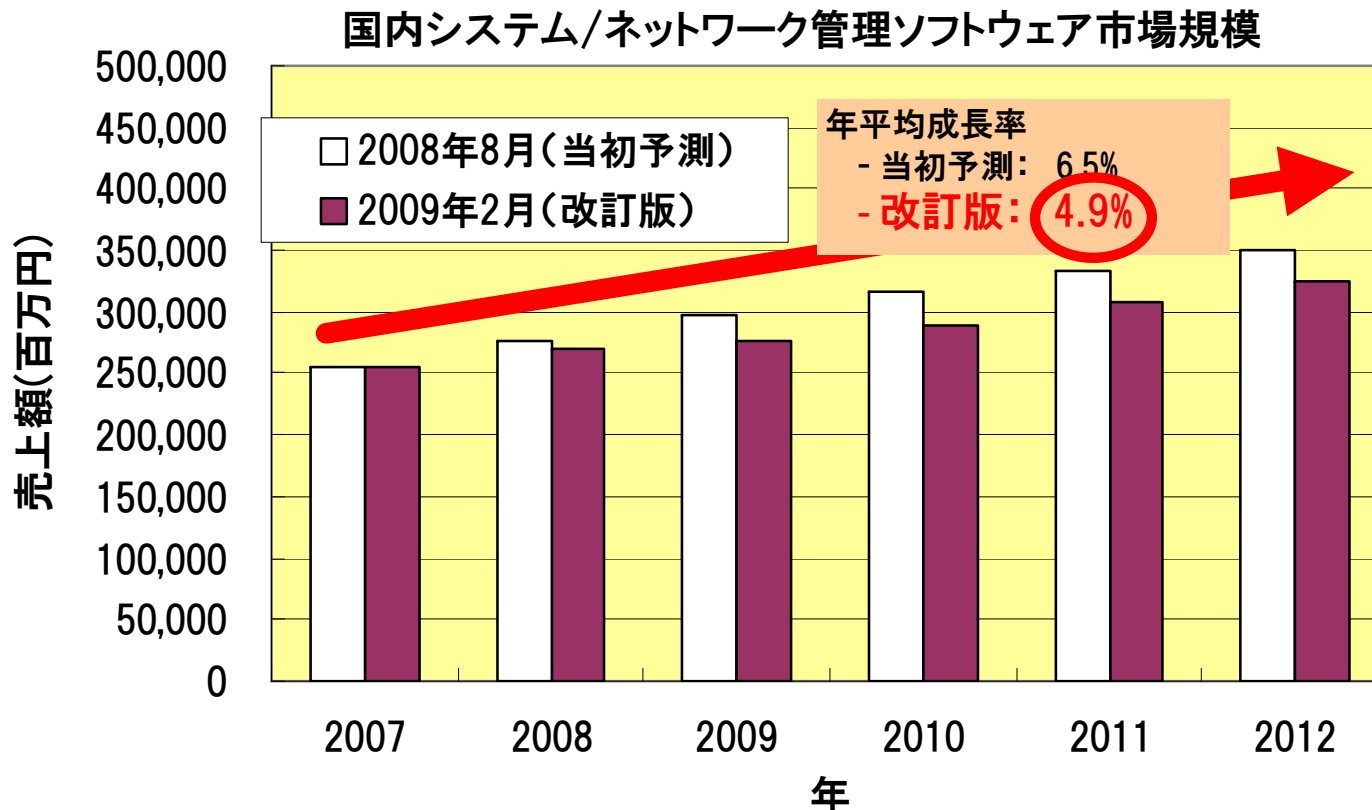
国内IT投資動向の推移



出典：ガートナー「世界同時不況と、日本の企業における2009年度IT投資への影響（2009年2月時点の中間推定値）」
中野 長昌 他共著、2009年3月31日

コスト削減、効率向上に繋がるものを中心に厳選投資

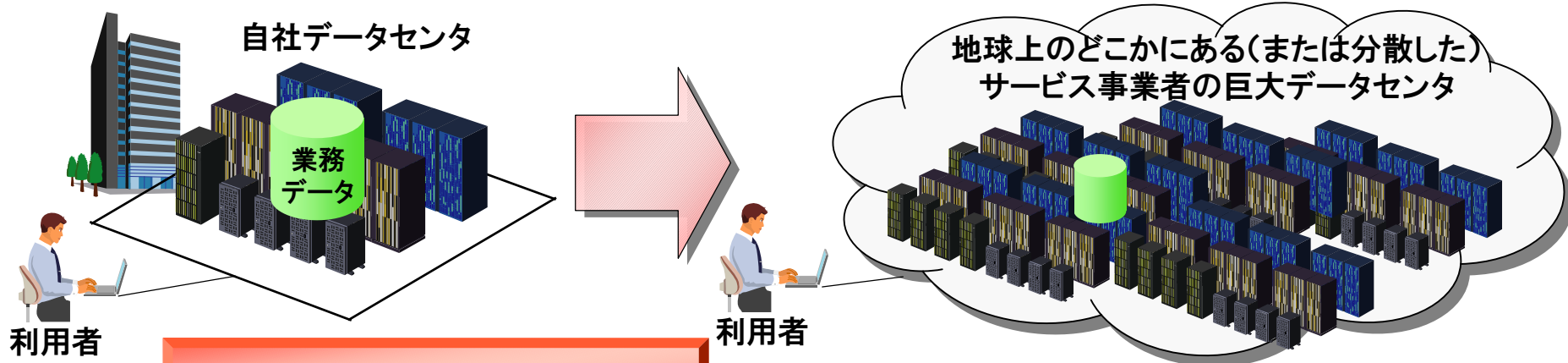
● 国内IT投資が低迷する中、運用管理市場はプラス成長を堅持



出典: IDC Japan, 2009年2月「国内ソフトウェア市場 2009年～2012年の予測見直し: 経済危機が与える影響」(J9360111)

サーバ統合、運用の自動化などによる
コスト削減、運用効率向上に向けた運用管理への期待

● 企業システムに変革をもたらすクラウドコンピューティング



クラウドがもたらす変革

- ・所有から利用へ
- ・必要な時に、必要な分だけ、すぐに使えるITへ

コアとなる業務は
企業内クラウド(自社運用)で

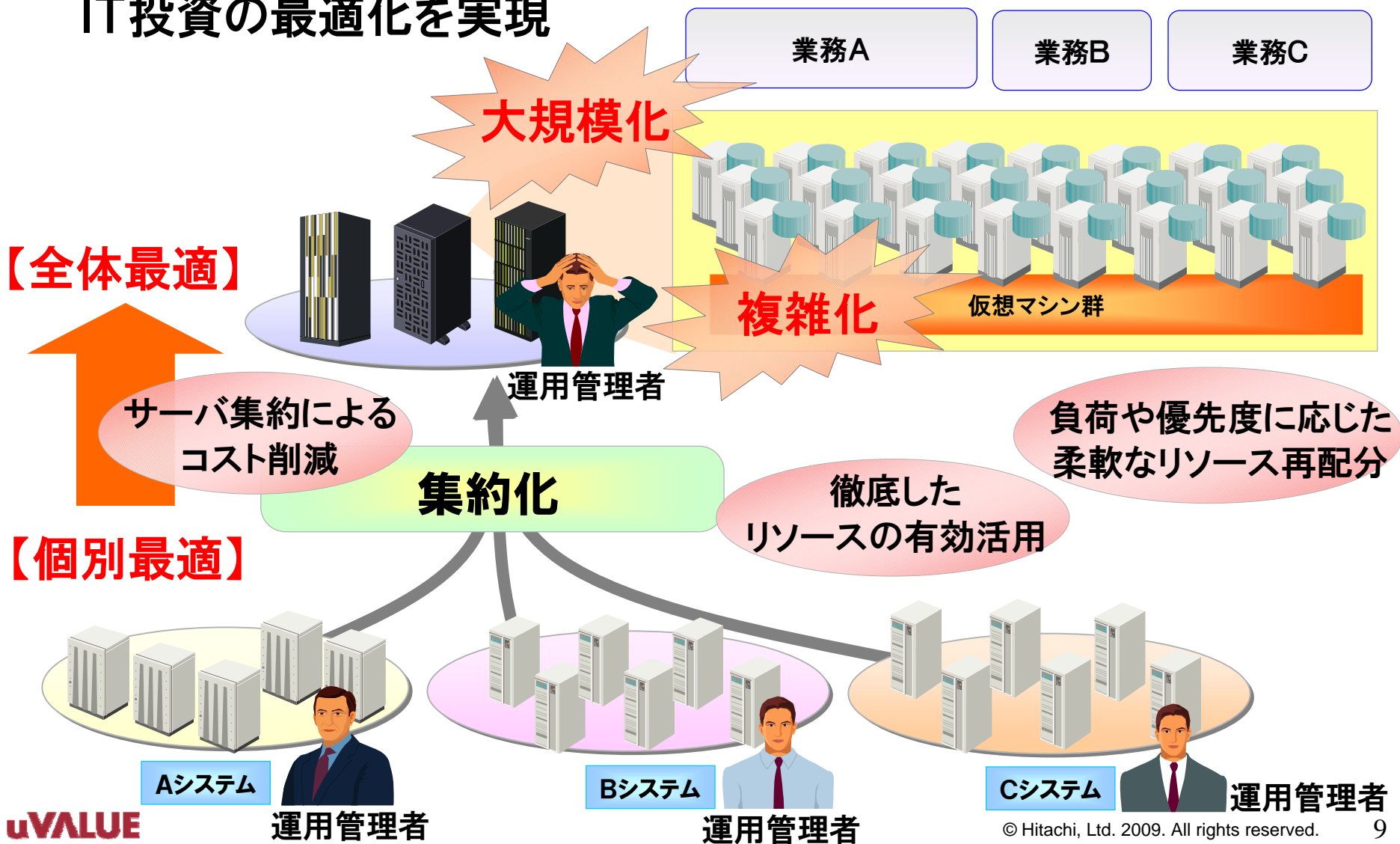
多様化

コアでないものから
クラウドサービス利用へ

- IT投資抑制の流れを受けて、積極的な活用に向けた動きへ
- システムの利用形態はサービス利用も含めた多様化の時代へ

2-4. クラウド時代にはサーバ集約が進む

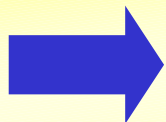
- 徹底したITリソース効率利用と運用業務効率向上により、IT投資の最適化を実現



2-5. クラウド時代の運用管理に求められること

● これからの運用管理に必要なこととは

企業システム

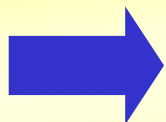


多様化

大規模化

ITリソースの
効率化

運用管理業務



複雑化

運用業務の
効率化

ダイナミックな
ITリソース活用

柔軟な
スケーラビリティ

【ITリソースの効率化】

運用管理の
省力化

自動化による
効率的な運用

サービスの利用も含めた
全体最適運用

【運用業務の効率化】

- クラウド時代のIT投資の全体最適化を実現するJP1 Version 9



Flexible & Smart

- 複雑化するシステムでの**柔軟な運用**
- 大規模化するシステムに左右されない**スマートな運用**

JP1

3

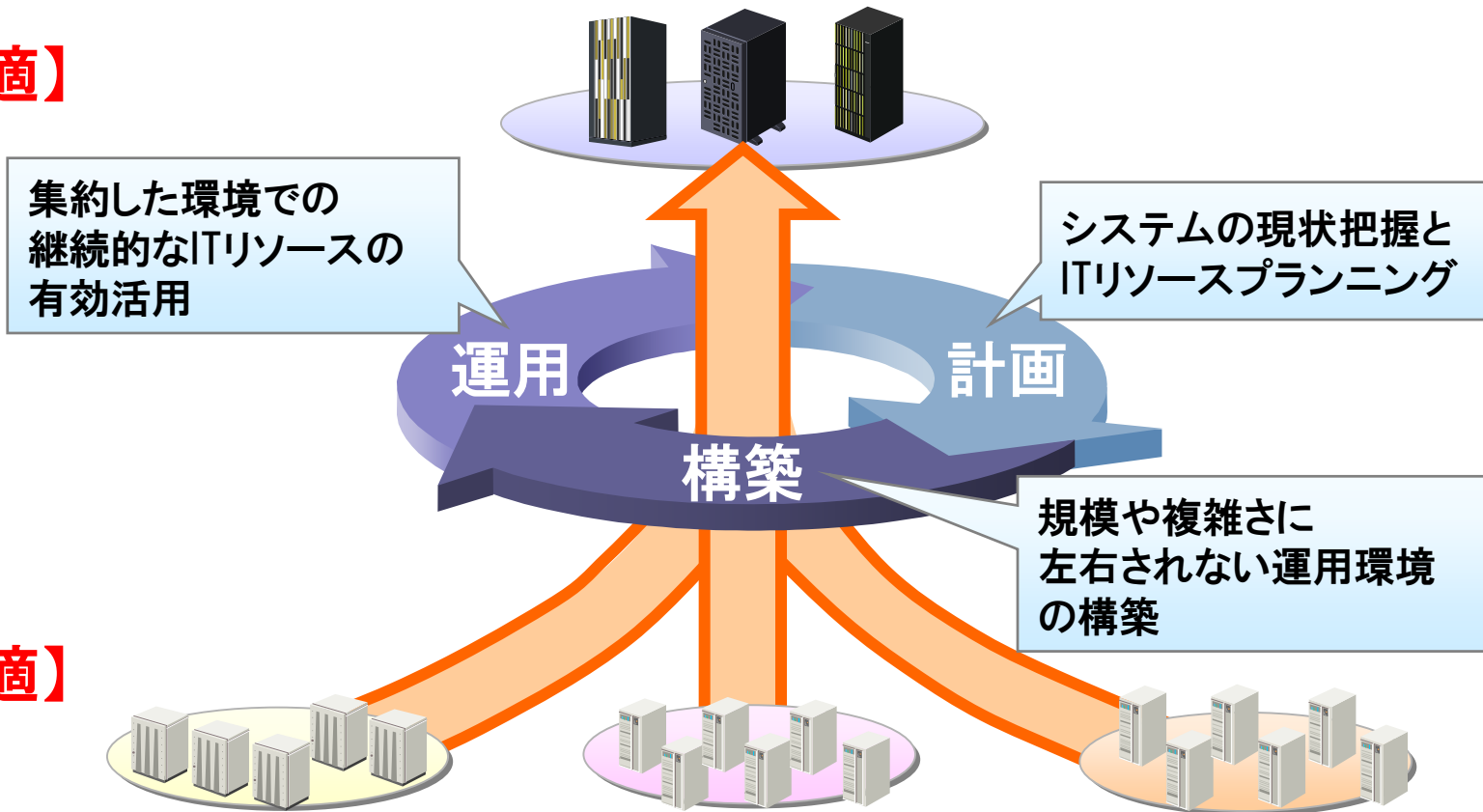
**コスト削減とIT投資の最適化を
成功に導く JP1 V9**

3-1. 全体最適化のプロセスを支援するJP1 V9

- 個別最適から全体最適へ向かう計画・構築・運用のプロセスをJP1 V9が支援。

全社/グループ企業規模で集約したシステム

【全体最適】



【個別最適】

各拠点/事業所/業務システム単位で個別最適化したシステム

3-2. ITリソース集約のプランニング支援



課題

現在の稼働状況を把握するために、稼働中のシステムに手を加えられない。

今から全サーバにツールを導入するのは大変だし...

稼働中のシステムを止めると、いろんな影響がでそう。

集約と言われても、今、ITリソースをどのくらい使っているんだろう？

ITリソースの使用状況を容易に把握し、プランニングに活用

ITリソース集約の計画

エージェントのインストール不要

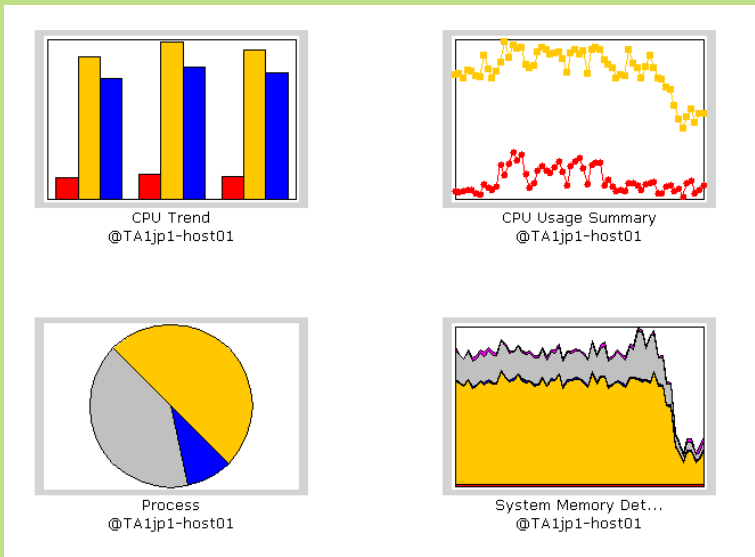
JP1
なら

稼働中のシステムに手を加えないエージェントレス監視で現状を把握。ITリソース集約の効率良いプランニングを支援

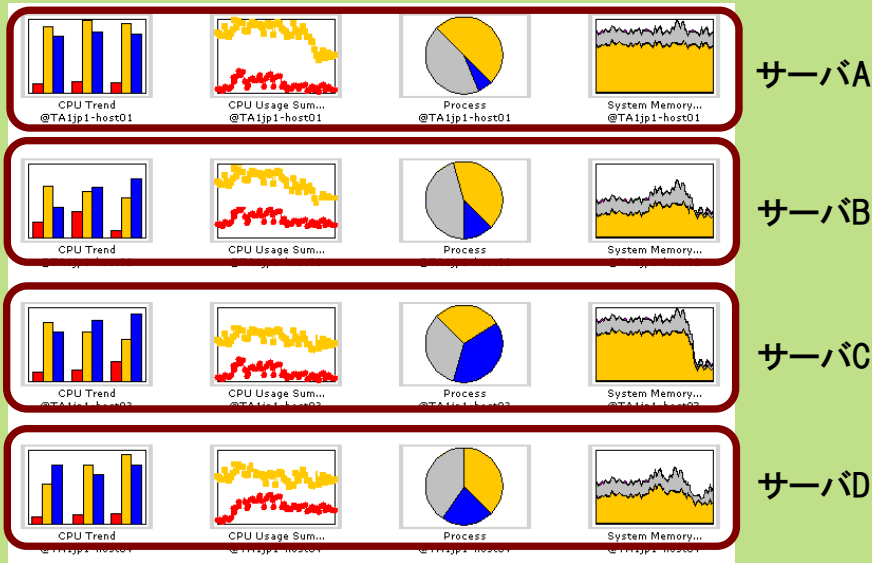


監視の例

! 1台のサーバを多角的に見る



! システム単位の傾向を比較する



エージェントレスで現状を把握し、効率的なプランニングが可能！

詳細は
B-2セッションへ **GO!**

3-4. 仮想環境での構築作業を容易化

課題

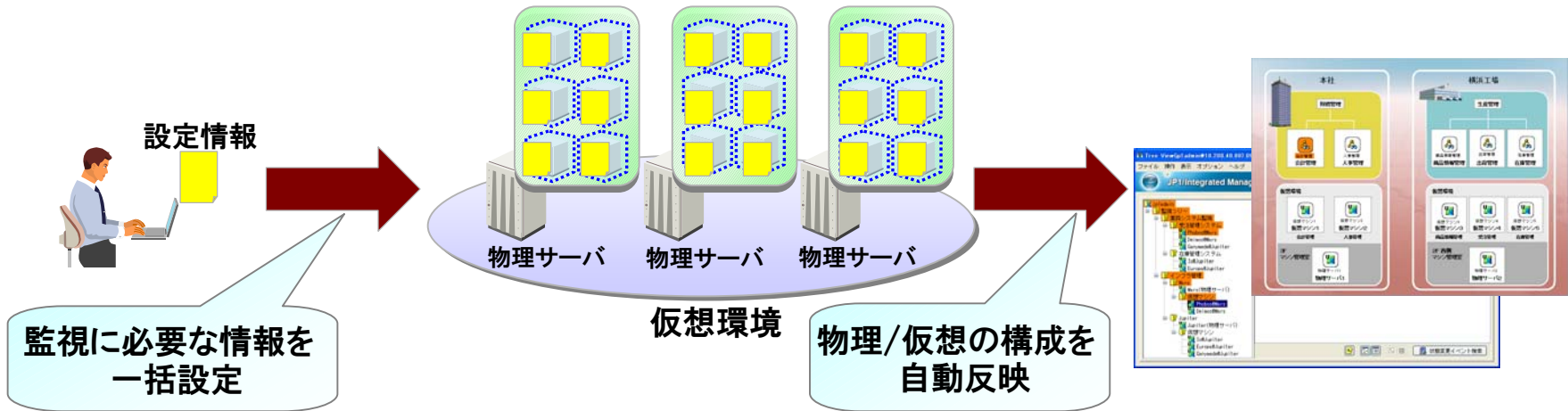
集約で大規模化するシステムでは、設定作業の負荷が高い。また、物理/仮想が混在し、複雑化するシステム環境を把握するのが難しい。



大量サーバの一括設定で
作業効率アップ

設定情報の一元管理で
保守効率もアップ

監視環境の設定は不要！
すぐに監視を開始できる



JP1
なら

監視に必要な情報の一括設定と
構成情報の自動反映により運用環境の構築を容易化



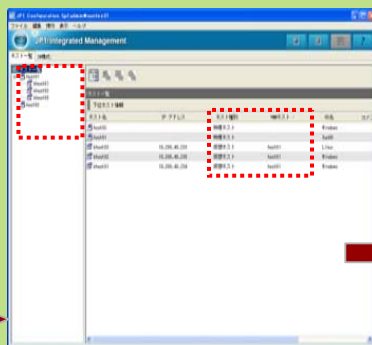
監視環境の構築例

仮想環境
仮想マシン 仮想マシン 仮想マシン

物理サーバ

仮想環境の
構成情報の
取り込み

物理サーバと仮想マシンの
複雑な構成を一括収集



仮想環境の
構成情報の
一括登録

監視ツリー画面



仮想環境を業務視点で監視できる
監視ツリー画面を容易に作成

ビジュアル監視画面

仮想化ソフトウェアとJP1の連携で、監視環境の構築を容易化！

詳細は
B-2セッションへ **GO!**

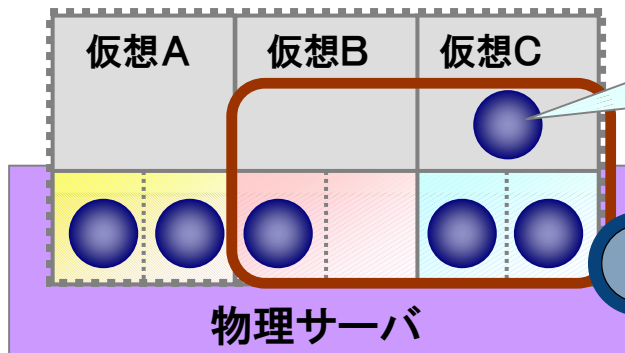
3-6. 集約したITリソースの効率的な利用



課題

個々の仮想マシンの監視だけでは実態がわからず、的確なチューニングができない。

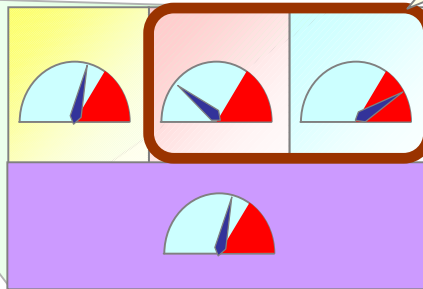
現状



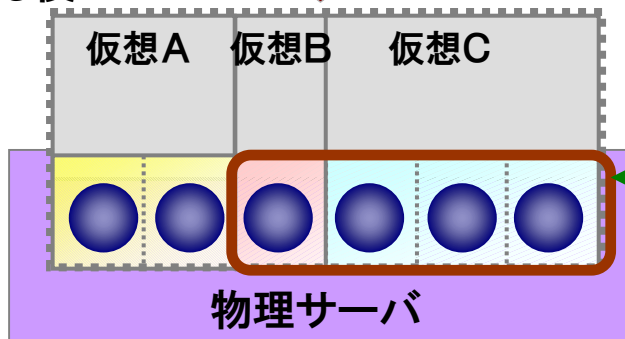
業務に待ちが発生

リソース配分を見直す余地あり!

リソース使用状況



見直し後



チューニング

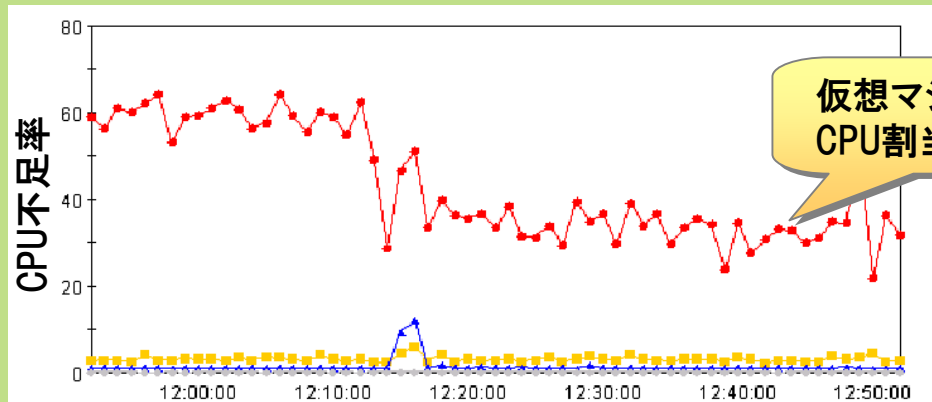
●:業務

JP1
なら

物理サーバ/仮想マシン両面からの継続的な監視で
集約したITリソースを最大限まで有効活用

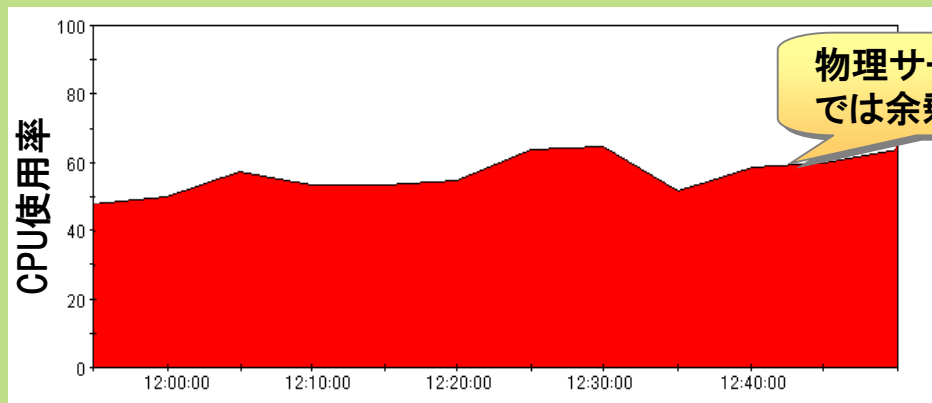


チューニングの例



仮想マシンCは
CPU割当てが不足

仮想マシンのCPU不足率と
物理サーバのCPU使用率から
リソース割り当ての
バランスを確認



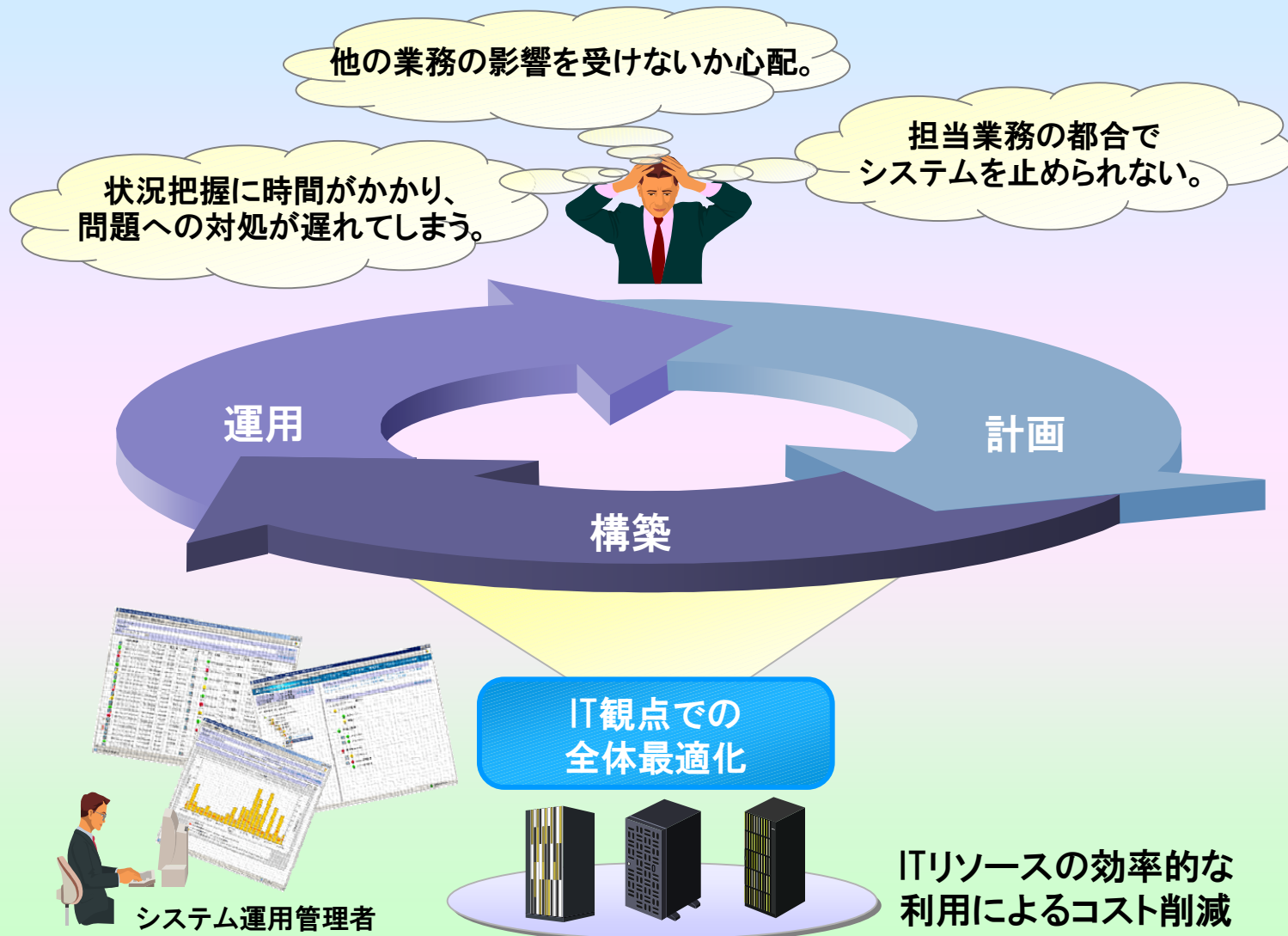
物理サーバ全体
では余剰あり

ITリソースを最大限まで有効活用するチューニングを支援！

詳細は
B-2セッションへ **GO!**

3-8. JP1 V9が実現する全体最適化

ITリソースの集約化はできたけど・・・！



3-9. 真の全体最適化を実現するには



3-10. 業務観点での全体最適化を支援

徹底的な業務運用の効率化に向けて、
JP1/AJS2からJP1/AJS3へ「フルモデルチェンジ」!

次世代ジョブスケジューラ
JP1/AJS3 誕生

JP1/AJS2 誕生

2000年 販売・出荷開始

JP1/AJS 誕生

1994年 販売・出荷開始

業務観点での見える化を強化

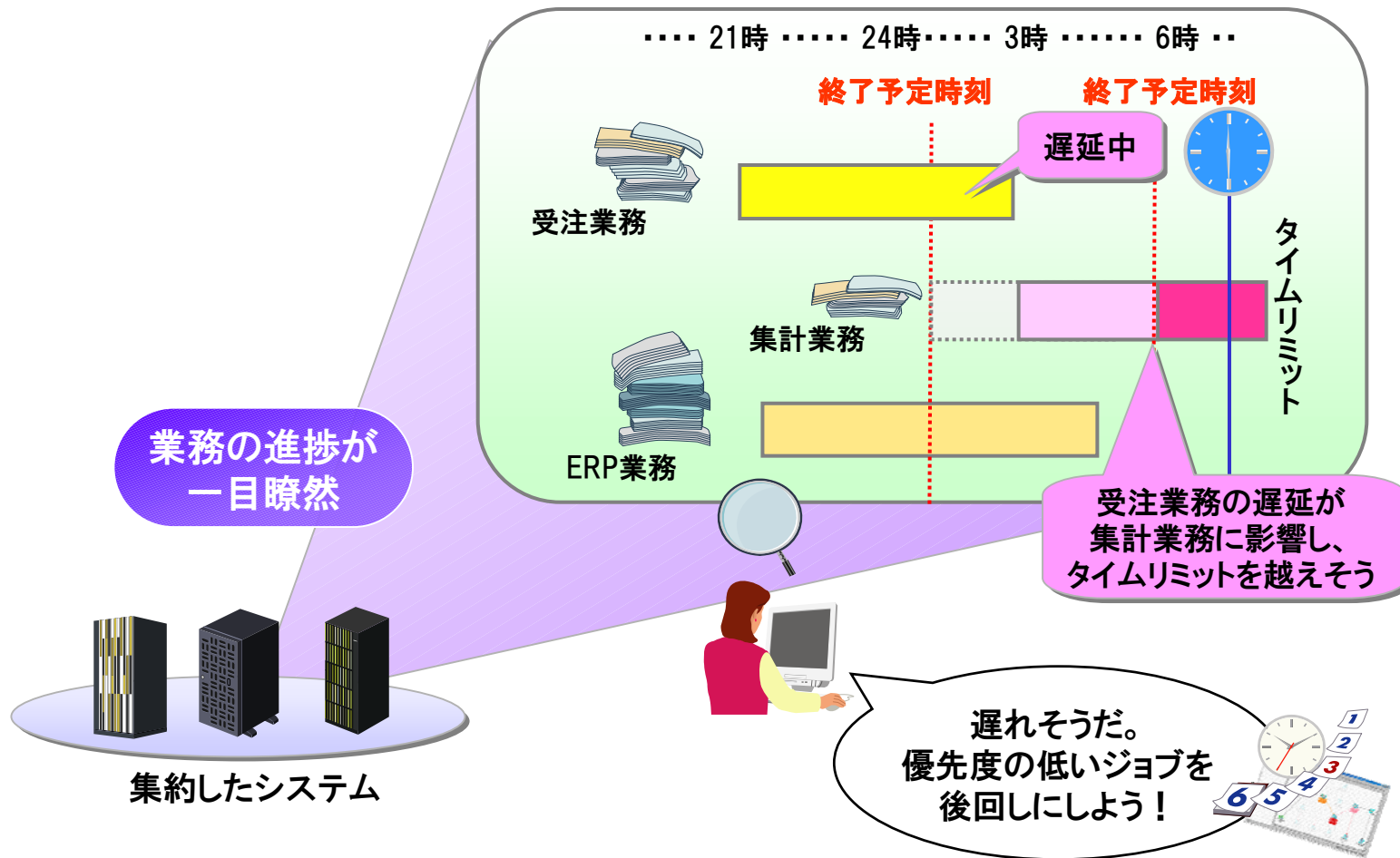
業務観点でのスマートな運用環境を提供

業務集約へ柔軟に対応できるスケーラビリティ

JP1/AJS : JP1/Automatic Job Management System
JP1/AJS2 : JP1/Automatic Job Management System 2
JP1/AJS3 : JP1/Automatic Job Management System 3

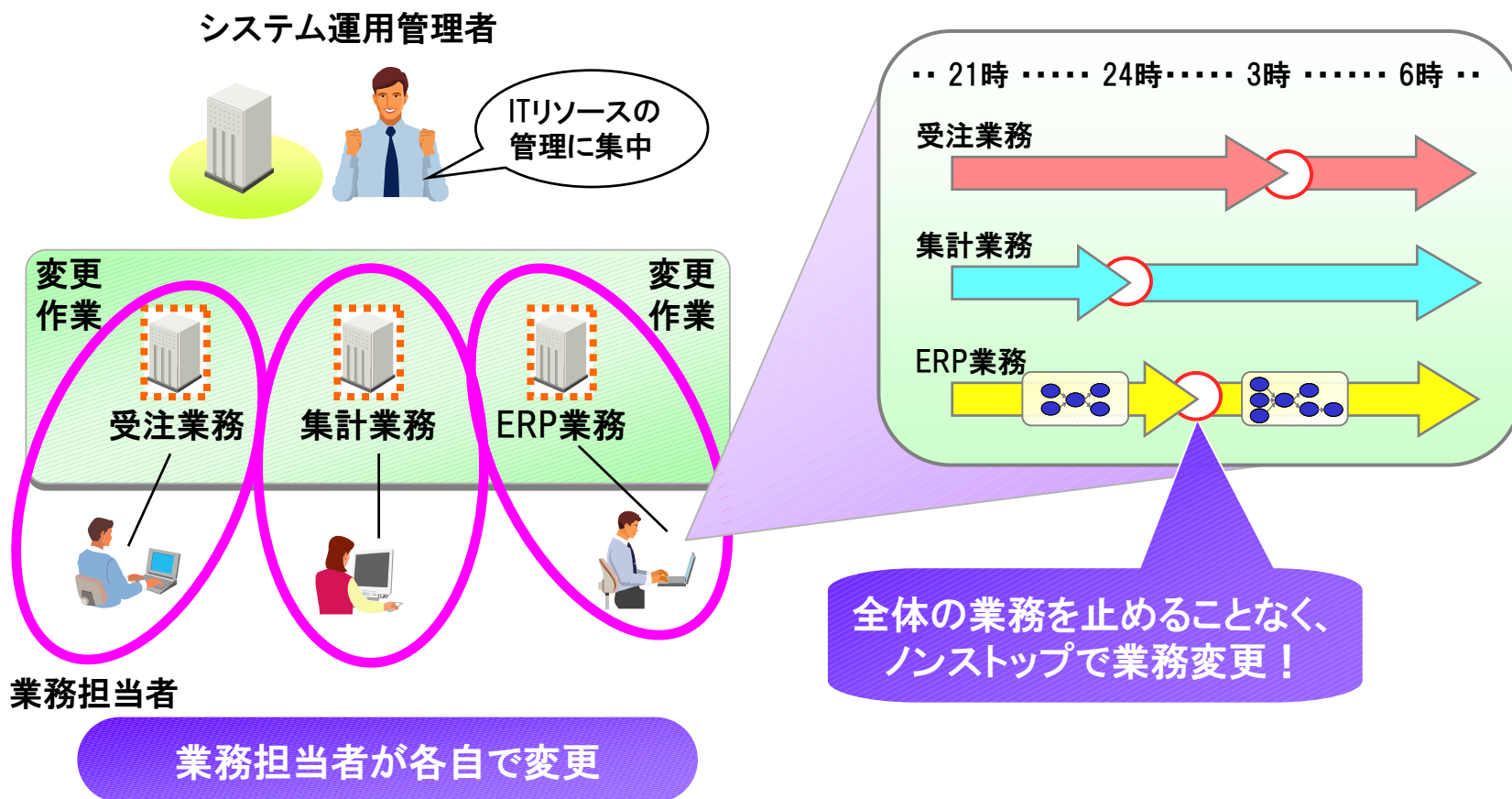
3-11. 業務観点での見える化を強化

- 重要な業務の情報のみを効率的に監視。業務終了予定時刻と進捗度を的確に把握することで、迅速な対応が可能。



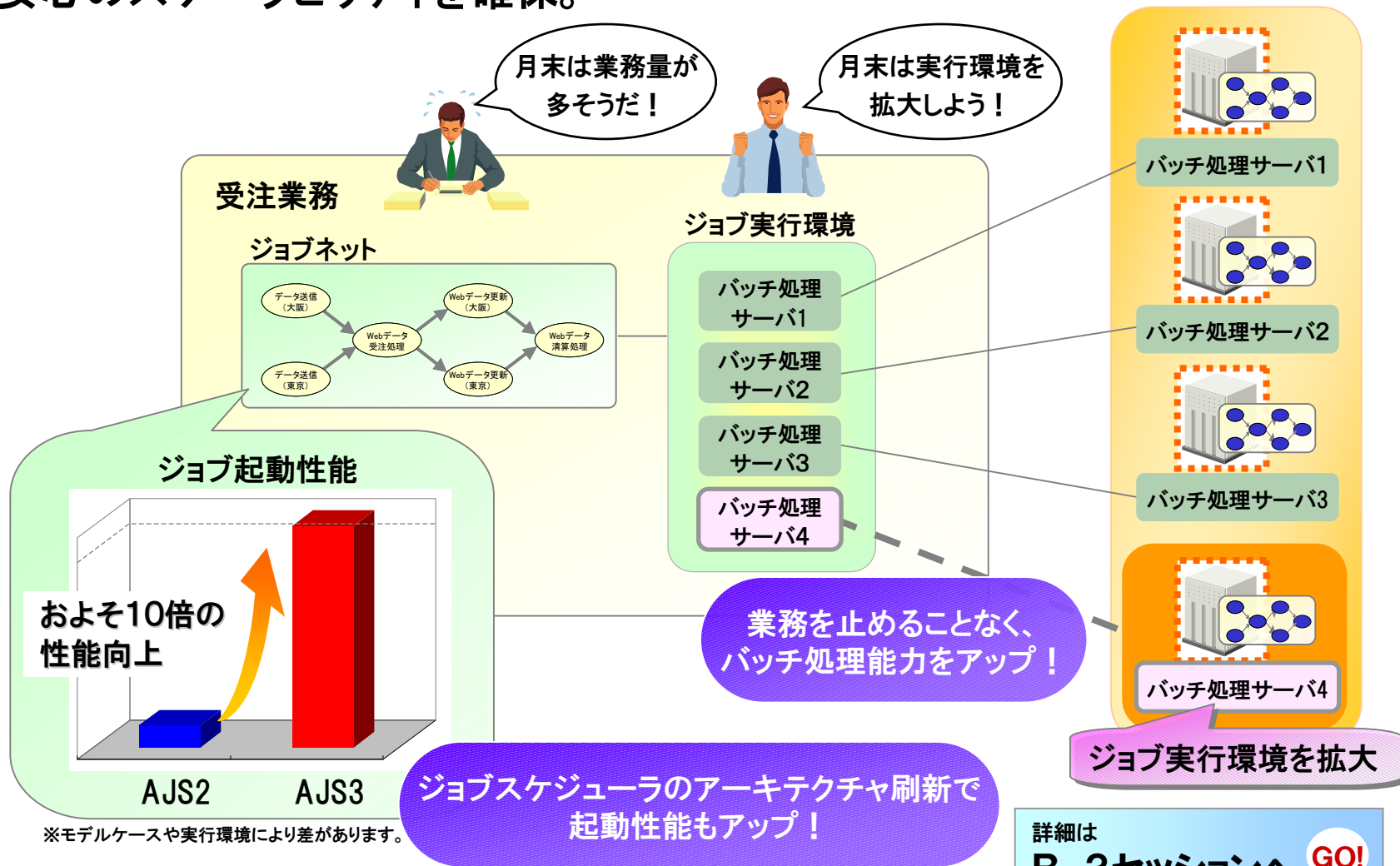
3-12. 業務観点でのスマートな運用環境を提供

- 集約したシステムの運用管理者に負担をかけることなく、業務担当者が各自で変更作業可能。さらに、業務変更はノンストップで実行できるので、運用効率が向上。



3-13. 業務集約へ柔軟に対応できるスケーラビリティ

- 集約に伴うシステムの大規模化、業務量の増加・集中に柔軟に対応できる安心のスケーラビリティを確保。



3-14. IT投資の全体最適化を実現する主な強化内容

● IT観点にとどまらず業務観点を取り入れることでIT投資の全体最適化を実現

統合管理

監視に必要な情報の一括設定により、運用環境の構築を容易化

複雑・大規模・構成が変化するシステムでもスムーズな環境構築を支援

業務や用途に合わせたスマートなメッセージ監視

ジョブ管理

業務観点での見える化を強化

業務観点でのスマートな運用環境を提供

業務集約へ柔軟に対応できるスケーラビリティ



アベイラビリティ管理

エージェントレス監視でITリソース集約計画を支援

物理サーバ/仮想マシン両面からの継続的な監視で集約したITリソースを最大限まで有効活用

ネットワーク管理

大量情報からの最適表示

利用シーンに合わせた直感的な操作

JP1

4

JP1の今後の取り組み

2009

2010

2011

JP1 *Version*
9

今回

業務観点を取り入れた企業全体での システムの全体最適運用の実現

- ◆仮想環境での運用管理強化
- ◆大規模環境での運用の容易化

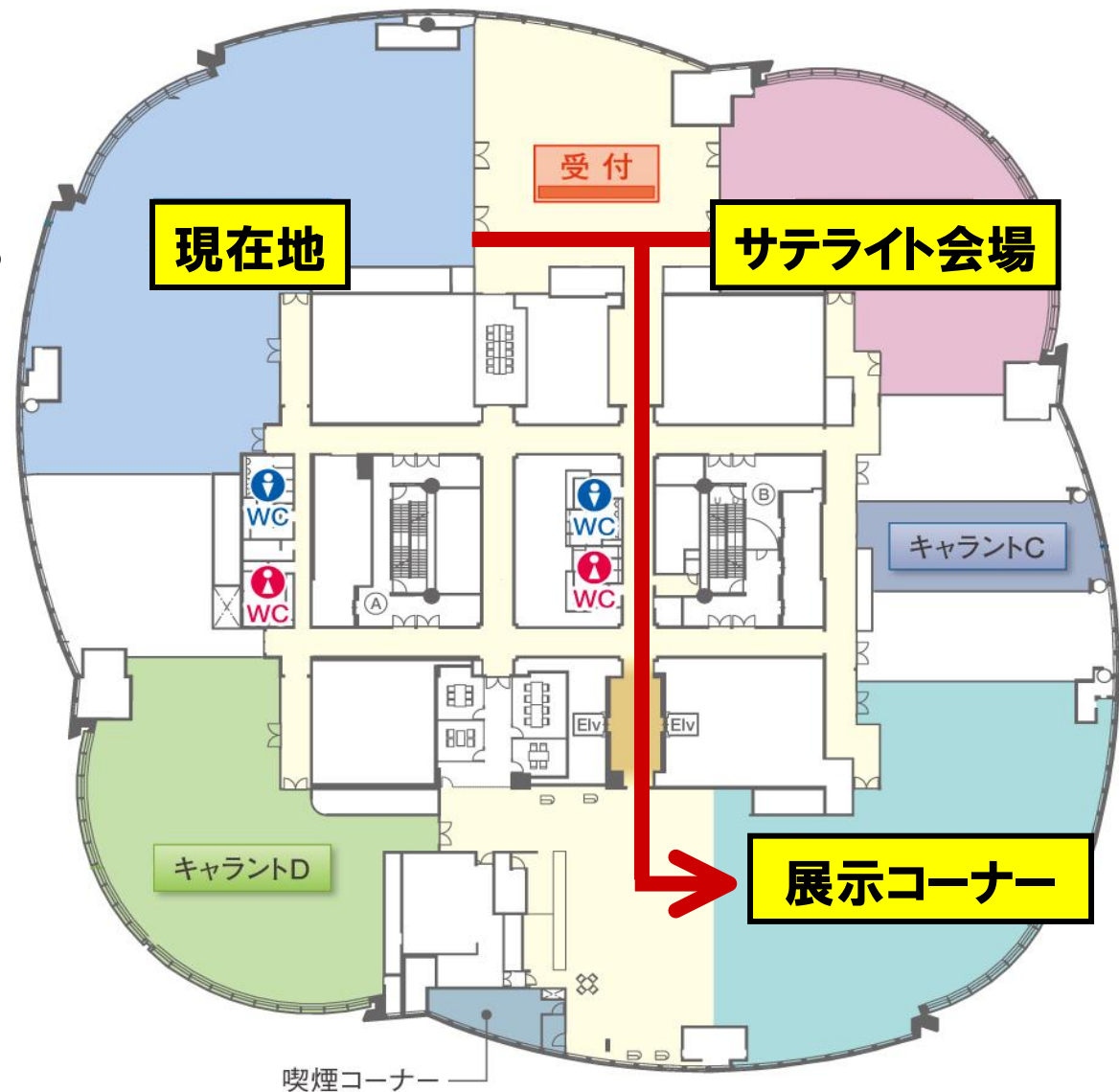
業務とITを融合した システムの全体最適運用の実現

- ◆クラウドサービスのモニタリング
- ◆業務とITの融合した統合構成管理と運用の自動化

Flexible & Smart な運用により、
クラウド時代のIT投資の全体最適化を実現する

JP1 *Version*
9

ぜひ、
展示コーナーに
お立ち寄りください。



◇本製品を輸出される場合には、外国為替 及び外国貿易法並びに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業に お問い合わせください。

●画面表示をはじめ、製品仕様は、改良のため変更することがあります。